

2025年5月30日

# 札証IR個人投資家向け会社説明会

札幌証券取引所

東京証券取引所スタンダード市場

証券コード 8104



クワザワホールディングス株式会社

商号	クワザワホールディングス株式会社
本社	札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
設立	1951年2月1日(創業1933年)
資本金	4億1,736万円
代表者	代表取締役社長 桑澤嘉英
事業内容	資材販売、工事施工、新築・リフォーム、運輸、製造、加工販売、サービスのグループ <sup>o</sup> 経営管理
発行済株式総数	16,694,496株
証券コード	8104 (札証、東証スタンダード)
売買単位	100株
グループ <sup>o</sup> 従業員数	1,014名 (2025年3月末現在)



## ■ 株主優待Q U Oカードの絵柄に採用されている「狸」についてご紹介します。

当社創業者の桑澤清は、店の知名度を高めるべく大きな「狸」と「猫」の像を店頭を設置しました。評判を呼び、当社のシンボルとなったこの狸像をモデルとして生まれたのが、当社マスコットの「たんたん」です。



1935年から見守る「守り神」



お色直しを繰り返した現在の「守り神」

## 企業理念

私たちは、安全で快適な生活空間を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。

## 経営理念

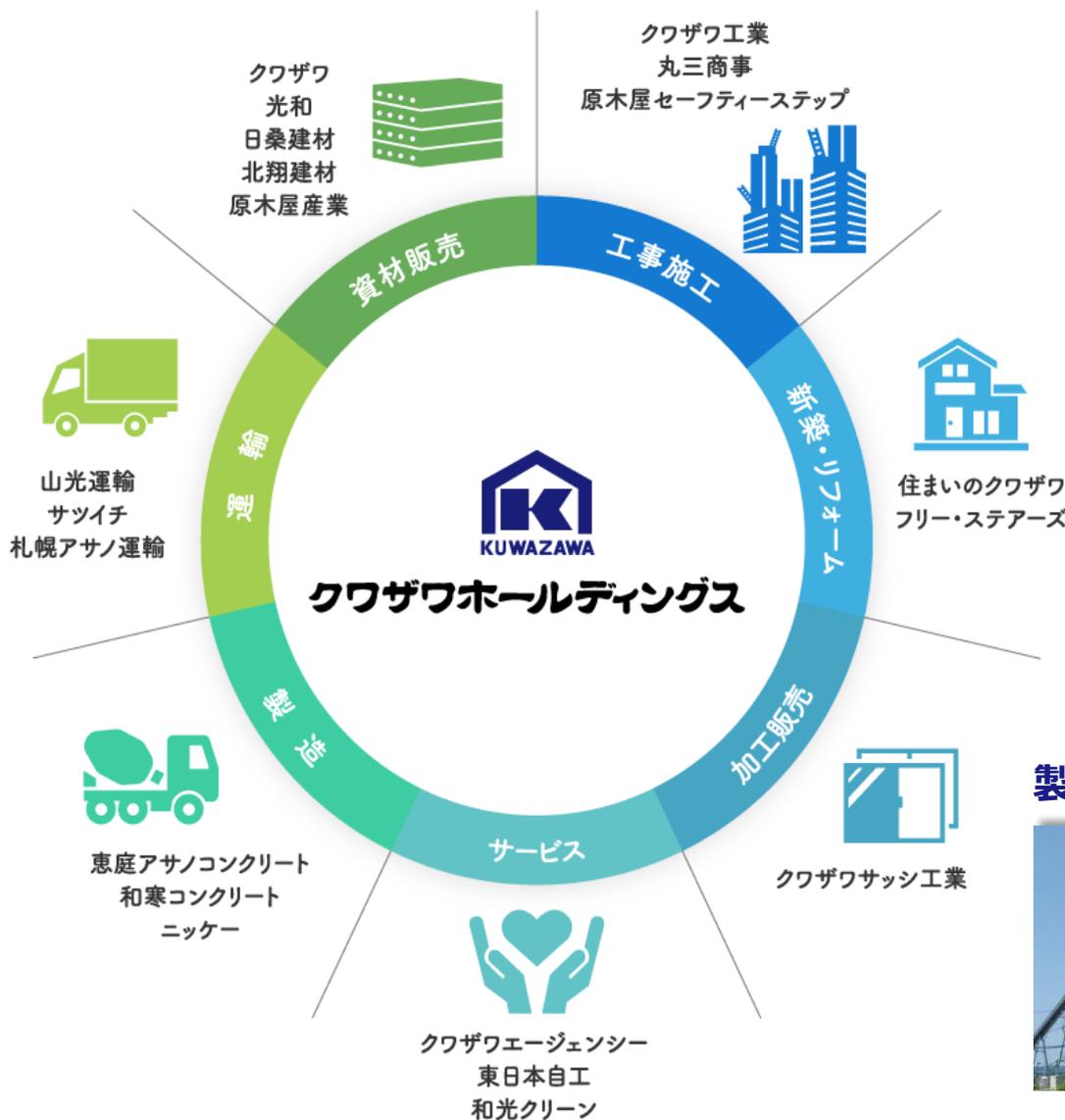
- 一、社業を通じて地域社会の生活向上に貢献する。
- 一、お客様から強く信頼される会社となる。
- 一、利益ある成長を遂げる。
- 一、働きがいのある会社をつくる。
- 一、仕事を愛し、会社を愛する。

## スローガン

「自分が燃えれば他人<sup>ひと</sup>も燃える」

## 行動指針

- 一、お客様満足を全力で追求する。
- 一、創造的・革新的であり続ける。
- 一、社会の法令と社内のルールを遵守する。
- 一、人材育成に力を注ぐ。
- 一、上司は自ら率先垂範する。



## 資材販売（基礎資材）



## 工事施工（内装工事）



## 製造（生コン製造）



## 運輸（建築土木）



クワザワグループ本社ビル（札幌市）

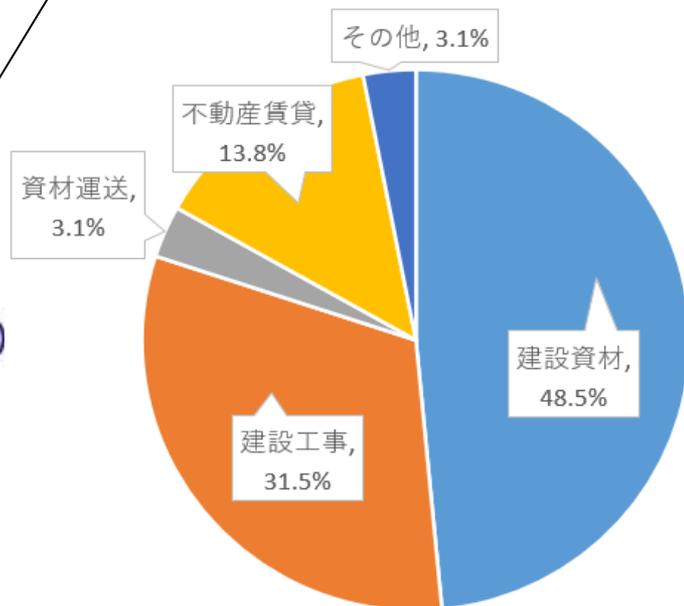


(株)クワザワ東京事業所  
(東京都千代田区神田)



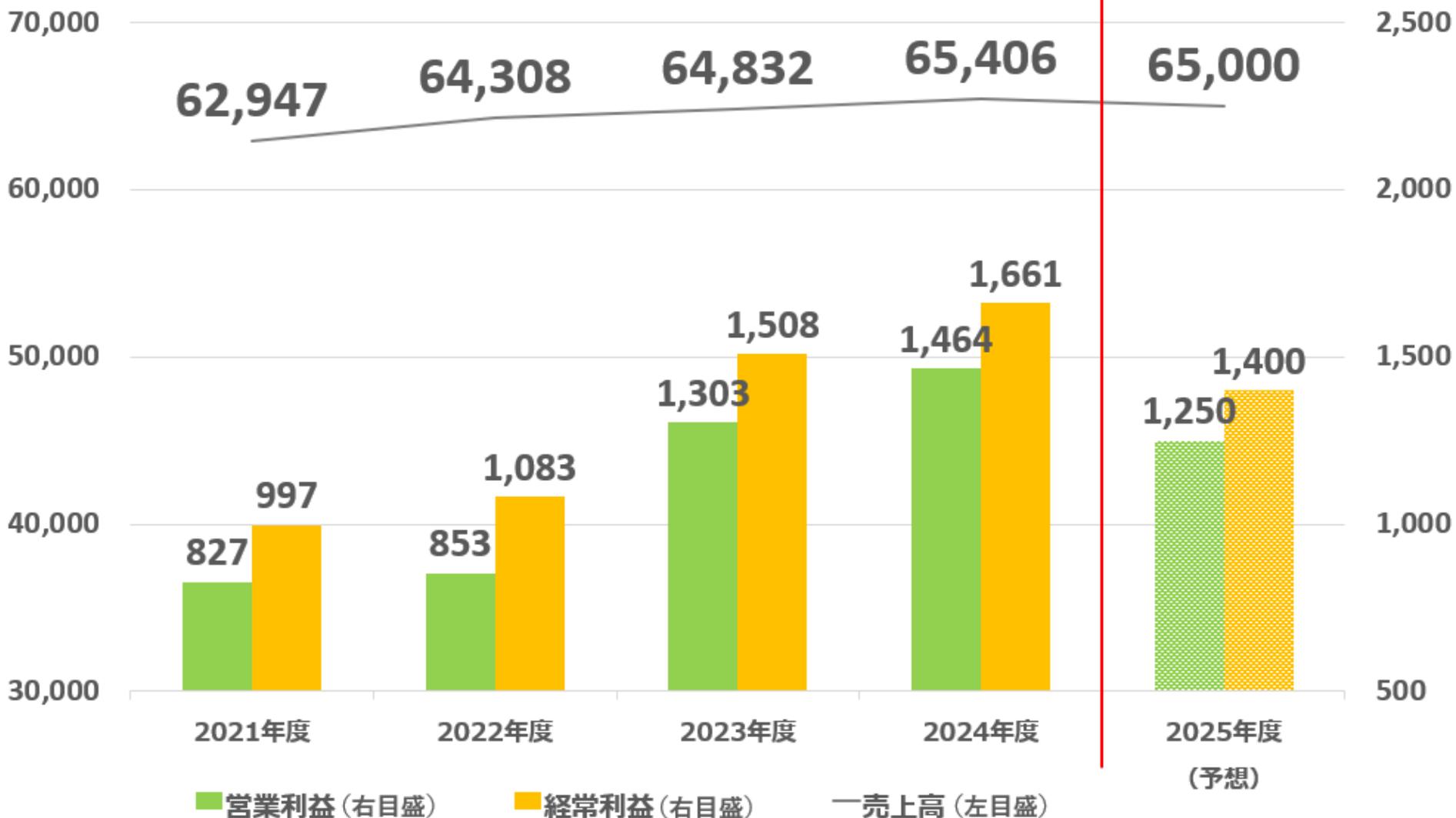
(2025年4月1日現在)

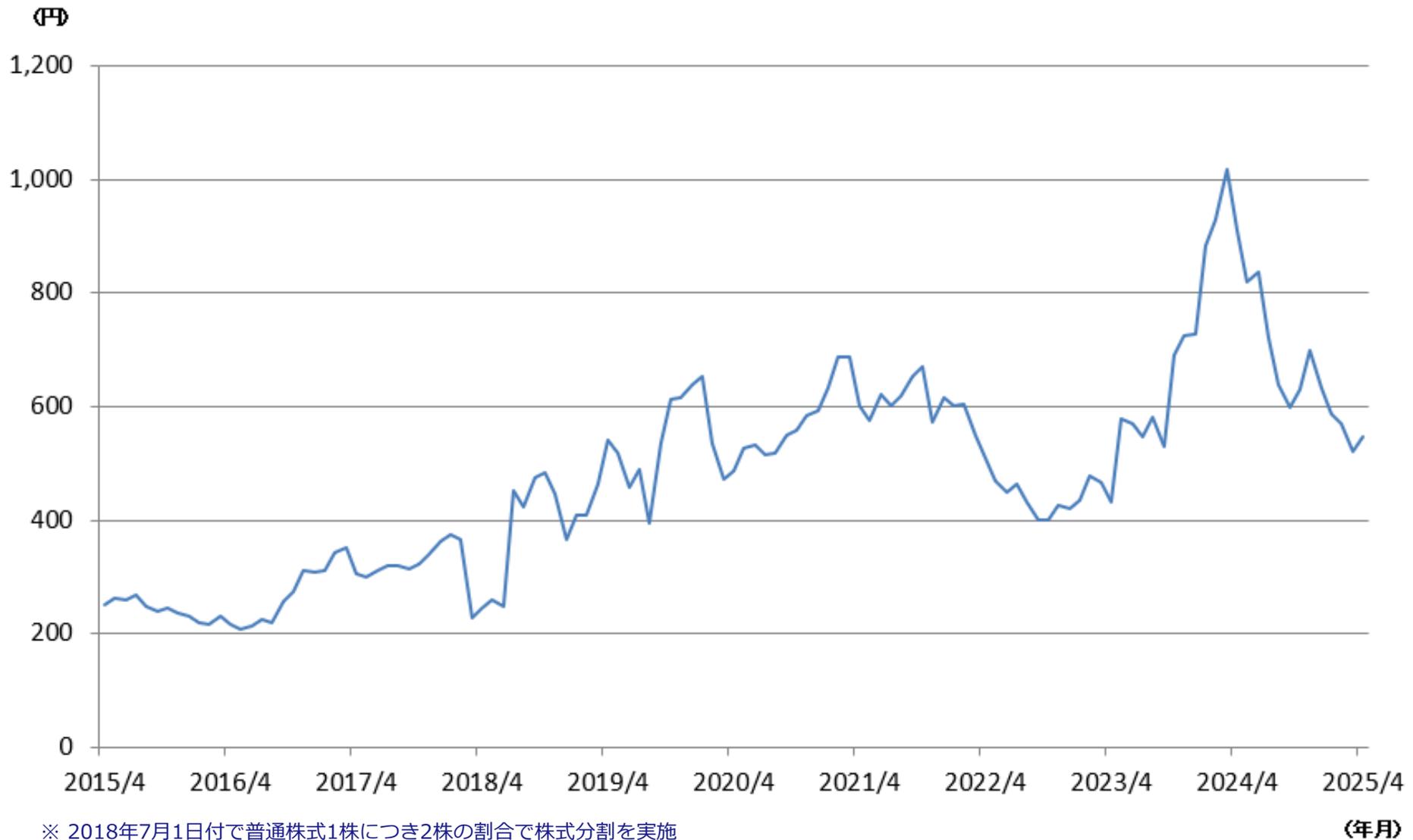
グループ連結営業利益-構成比  
(2025年3月期)



# 業績推移（グループ連結）

業績予想（単位：百万円）

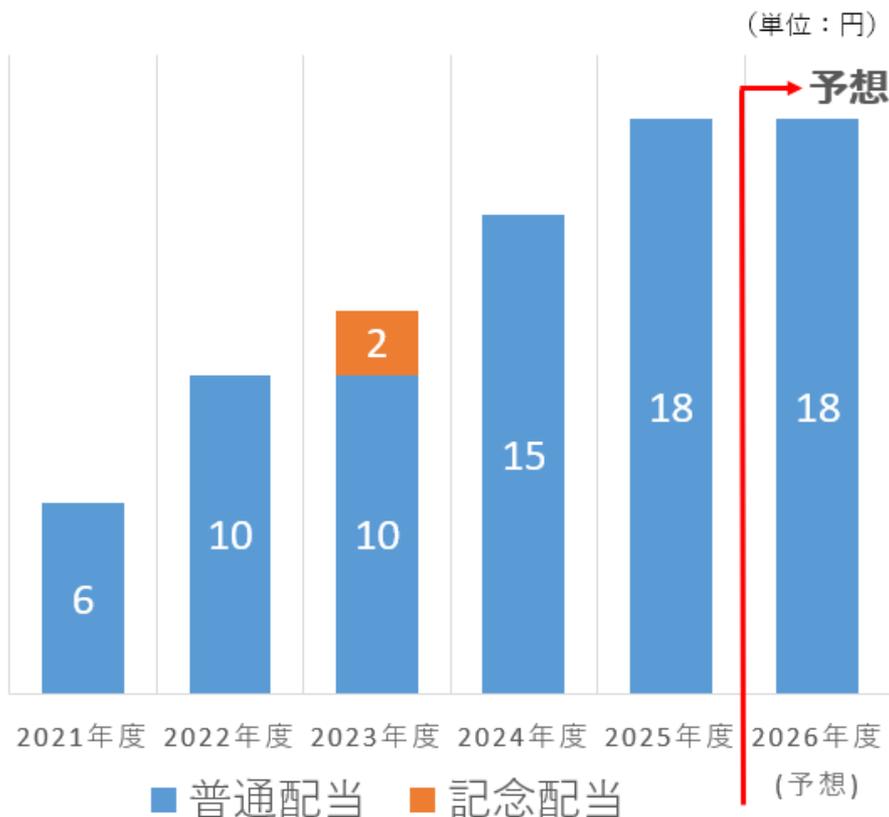




## ■ 配当金について

将来に備えた経営基盤の強化に配慮しながら、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、連結業績及び財務状況等を勘案し、安定的な配当水準を維持することを基本としております。

## ■ 配当金の推移及び予想



## ■ 株主優待制度について

対象となる株主様	毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記載された100株以上の株主様	
優待内容	保有株式数	優待内容
	100株以上500株未満	QUOカード 1,000円分
	500株以上1,000株未満	QUOカード 2,000円分
	1,000株以上	QUOカード 3,000円分
贈呈時期	毎年6月に送付予定(年1回贈呈)	



## 環境への取組

- 環境に配慮した事業の推進
- クリーンエネルギーの創出
- 植樹活動
- 環境美化

関連するSDGs



## 社会への貢献

- 地域社会とのコミュニケーション
- 人材育成・人権の尊重・ダイバーシティの推進

関連するSDGs



## ガバナンス

- ガバナンス体制の構築
- 内部統制システムの充実
- 働き方改革・健康経営宣言

関連するSDGs



## ■ 植樹活動



札幌市 白旗山



## 建設資材事業

- 災害に強い商品を推進
- 耐久性の高い資材の販売推進
- 省エネルギー資材の販売推進
- 太陽光発電システム関連の提案
- 廃棄物のリサイクル

### 関連するSDGs



## 資材運送事業

- 安全な輸送サービスを提供
- 交通安全教室へ参加
- 北海道交通遺児の会へ寄付

### 関連するSDGs



## 建設工事業

- 豊かな住環境を創造
- 低炭素住宅の普及
- 建物の長寿化
- 安定した施工体制による工事品質の確保
- 外国人技能実習制度への取組
- 職方支援
- 技能継承

### 関連するSDGs



## ■ 職方支援



## その他事業

- 木質バイオマス燃料の製造
- クリーンエネルギーの創出
- 保険の取扱

### 関連するSDGs



## ■ 【木質バイオマス燃料の製造】



※和寒環境整備事業協同組合の委託を受け製造

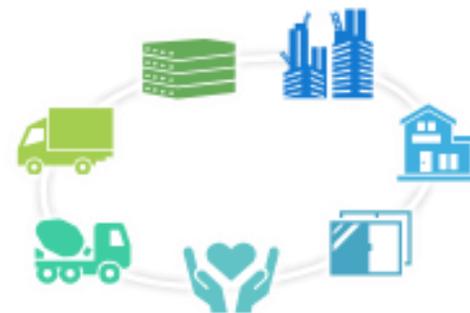
## ■ 【たんたんエネルギー・ファーム】



※2,050,000kW/年の発電力（約7,300枚の太陽光パネルを設置）  
一般家庭570世帯が一年間に使用する量の発電が可能

## 1. 幅広い分野への事業展開によるグループの「総合力」

- 建材・土木資材1,000社以上の取引で北海道最大の専門商社。
- 商社でありながら強力な施工体制を持っている。
- 「資材販売」「工事施工」「新築・リフォーム」「運輸」「製造」「加工販売」「サービス」の7つの分野で事業を展開。
- グループ全20社が持つ専門的な能力・ネットワークを最大限に発揮し、建設事業をトータルコーディネートできることが強み。



## 2. 確かな「技術力」と盤石な「施工体制」

- グループの社員全体で、保有資格数は、約500に上る。  
(建築士、施工管理技士、電気工事士、コンクリート技士、土木施工管理技士など)
- 北海道を中心に約1,500社に上る工事協力業者（職方数で約4,000人）  
北海道・東北・関東圏での工事に対応する施工体制を構築。
- 協力業者様と共に安全衛生協力会を組織し、定期的に安全大会を開催。  
事故防止に努め、質の高い工事を提供。



## 3. 建設資材分野の北海道トップ企業としての「信頼」と「実績」

- 1933年に「㊦タイル煉瓦問屋」として創業以来、北海道で事業を行ってきた。
- 今ではグループ中核会社の「株式会社クワザワ」と「株式会社クワザワ工業」はそれぞれ北海道における建設資材商社、内装工事業者のトップを走る企業となった。
- 地元北海道で培った信頼と実績を糧に、日本の快適な住環境の創造に向けて、日々邁進していく。



■タイベック®は、様々な特性を併せ持ち、多くの建築現場で活躍する特殊な不織布です。



透湿性

優れた透湿性で構造材の乾燥状態をキープ



防水性

湿気は通しても、外部からの雨水の侵入を防ぐ



強靱性

施工中の引っ掻きや引っ張りにも耐える強度

## ■ 1985年から販売をスタート

当社が全国代理店として、販売を開始

## ■ 四季がある高温多湿の日本の住環境に対応

- ・雨水や結露から木造住宅を守る
- ・日本の木造住宅には欠かすことのできない商品

## ■ 20年保証

40年以上の実績と厳密な商品検査に基づき、防水性について保証制度を導入

## ■ 「タイベック®」の施工現場



※「デュポン™タイベック®」は、旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社の商品です。

出典) \*1 旭・デュポンフラッシュスパンプロダクツ株式会社,タイベック®とは, <https://www.tyvek.co.jp/construction/owner/tyvek/>

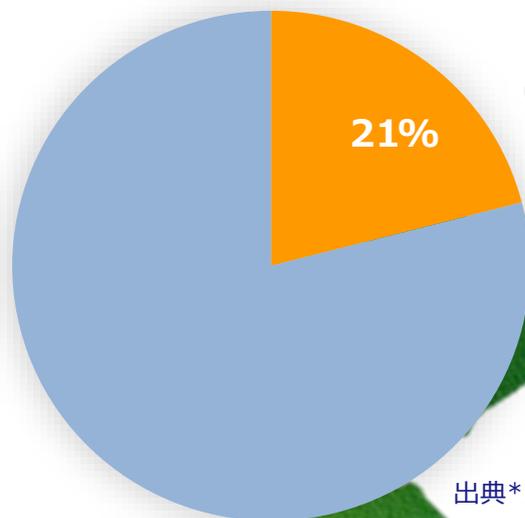
出典\*1

## ■生コンクリート・セメント販売におけるシェア 1位（北海道）

北海道のセメント販売量

161万トン

セメント販売シェア

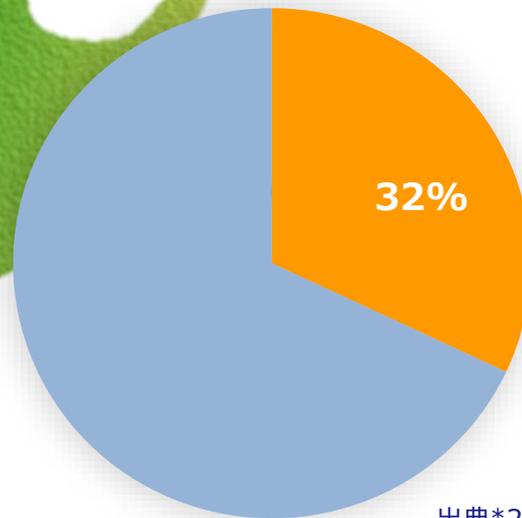


出典\*1

北海道の生コン販売量

308万<sup>3</sup>m

生コン販売シェア



出典\*2

※シェアについては当社推計

出典) \*1 セメント協会,セメントの需給, <https://www.jcassoc.or.jp/cement/1jpn/jh1.html>

\*2 北海道生コンクリート工業組合,出荷量推移 月別, <https://www.doukouso.or.jp/by-month/>

## <札幌都心部の再開発>



※①～③開業済み、④～⑦再開発中

### ▶ JR札幌駅南口、新設の新幹線駅直結エリア

- ⑦【北5西1・西2】(エスタ跡地)
- ・道内一の高さとなる地上43階の複合ビル (2030年度と2034年度)
  - ・新幹線の駅と直結させ、ホテルやオフィス、商業施設に加え、**バスターミナル**を整備し交通拠点化



### ▶ JR札幌駅前、大通公園中心部エリア

- ⑤【北4西3(札幌西武跡地)】
- ・商業施設やオフィスを有する地上33階の複合ビル (2028年度)

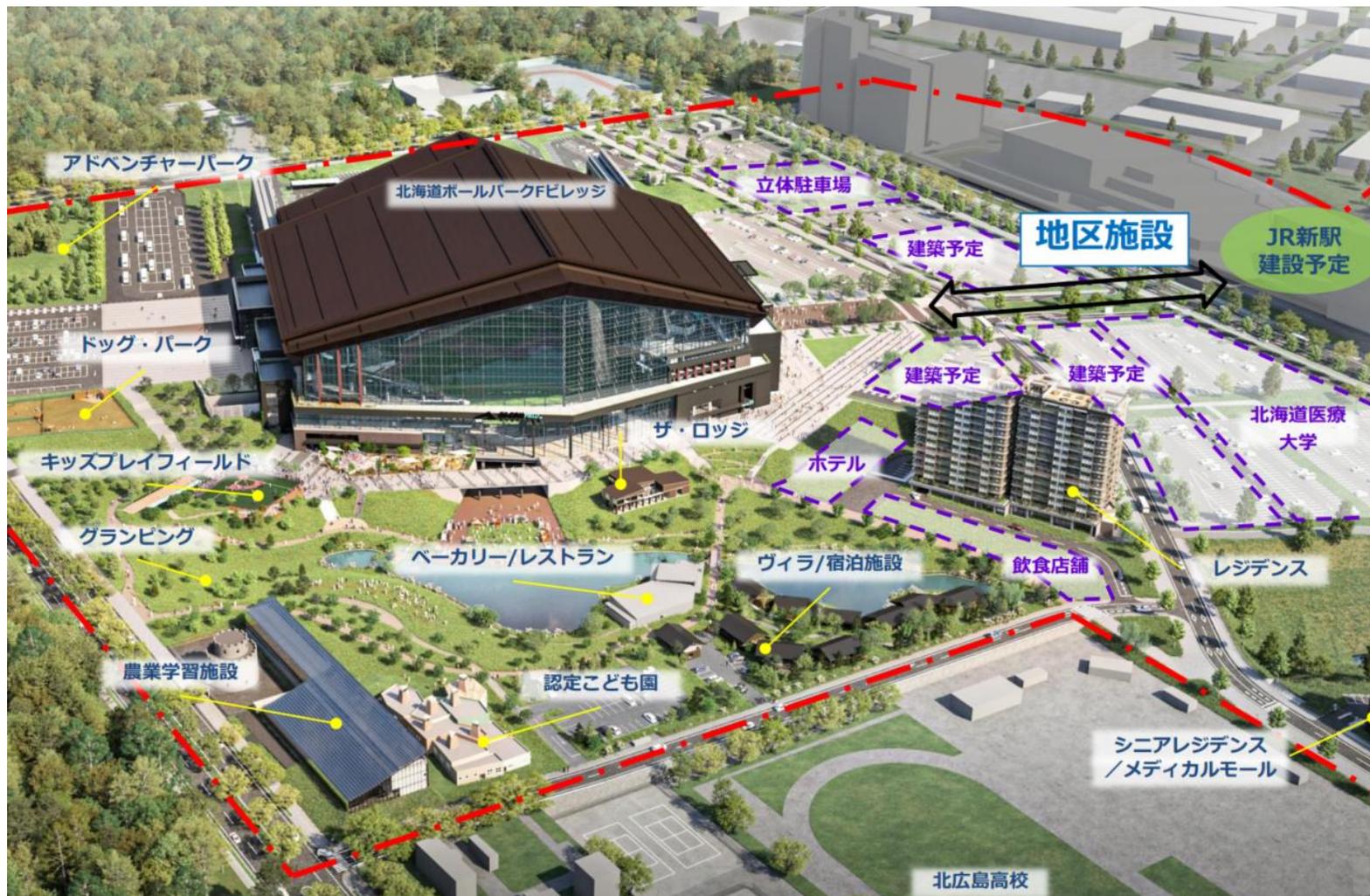


- ⑥【大通西4エリア】
- ・オフィスや宿泊施設を有する大型複合ビル (2028年度)

出典) 北海道財務局,最近の北海道経済の動向等について(令和7年1月全国財務局長会議報告資料),

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/toukei/keizaidoukoutou/index.html>

## <札幌周辺部（北広島）の再開発>

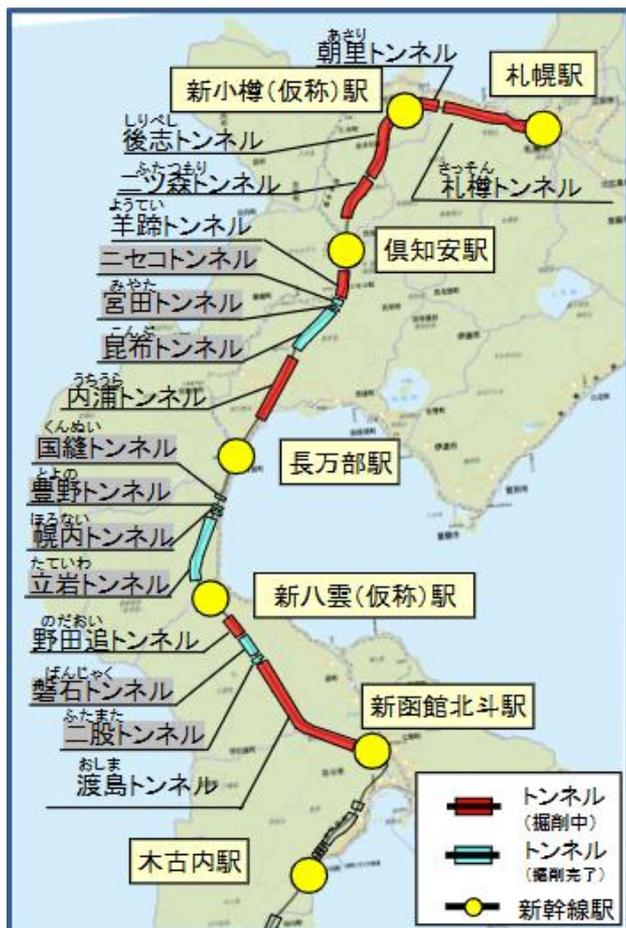


出典) 北広島市都市計画審議会, 令和7年度第1回説明案件第1号「札幌圏都市計画運動公園地区地区計画の変更」について

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00004045.html>

## <北海道新幹線の札幌延伸（開業2038年度末見通し）>

- 建築費用：約2兆3159億円（2023年3月31日発表）
- 北海道新幹線は全体212kmの約80%（169km）がトンネル



注) 2025年4月1日現在の進捗状況

### 渡島トンネル(台場山) トンネル掘削状況



出典) 鉄道・運輸機構 (JR TT) ,北海道新幹線札幌延伸推進会議資料,

<https://www.jrtt.go.jp/project/hokkaido-meeting.html>

## < Rapidus（ラピダス）2025年4月1日稼働開始 >

・千歳市に最先端半導体の製造工場建設（総額5兆円規模の投資）



出典\*2

### ラピダスの主なできごとと今後の見通し

2022年	8月	会社設立
	12月	米IBMと共同開発パートナーシップ締結
23年	2月	千歳市に製造拠点建設を発表
	4月	米ニューヨーク州のIBM研究施設にエンジニアの派遣開始
	9月	千歳市内で製造拠点着工
	11月	北米の半導体設計テンストレントと提携

### ■ 半導体関連進出企業例

出典\*1

	企業名（本社所在地）	用途、特徴	完成時期
道内	(株)ランドブレイン（札幌）	ショッピングモール	2024年11月
	杉原商事(有)（千歳）	オフィスビル	2026年2月
	アルファコート(株)（札幌）	ホテル(6棟、総計100億円)	2026年より順次
道外	(株)日本エスコン（東京）	物流倉庫	2026年1月
	大和ハウス工業(株)（大阪）	ホテル、商業施設、オフィス	2026年以降
海外	ASML（オランダ）	製造装置導入、保守点検	2024年9月
	アプライドマテリアルズ（アメリカ）	製造装置導入、保守点検	2024年11月
	imec（ベルギー）	技術者の派遣・育成	未定

出典\*3

14年間  
道内総生産11兆円増  
ラピダス効果最大18.8兆円

出典) \*1 北海道財務局,最近の北海道経済の動向等について(令和7年1月全国財務局長会議報告資料), <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/toukei/keizaidoukoutou/index.html>

\*2 2ナノ級迅速製造で世界へ,北海道新聞社,2025-4-1,朝刊

\*3 北海道新聞社,ラピダス効果 最大18.8兆円 14年間 道内総生産11兆円増, 2023-11-22朝刊

## < データセンター（DC）建設 >

### ■ 北海道の立地優位性

- ① 冷涼な気候
- ② リスク分散と広大な土地
- ③ 再エネポテンシャル

【石狩市（東急不動産）】出典\*1  
2026年3月完成予定（総務省一部補助）



総事業費 約200億円

【苫小牧市ー（ソフトバンク）】出典\*2  
先行5万キロワットを2026年度中開業を目指し、  
将来は100万キロワットに拡張する構想



先行事業費 約650億円

出典\*3  
ソフトバンク  
経産省、300億円補助  
苫東DC 先行整備650億円

出典\*4  
苫東DC 100万キロワット構想  
実現なら世界有数規模

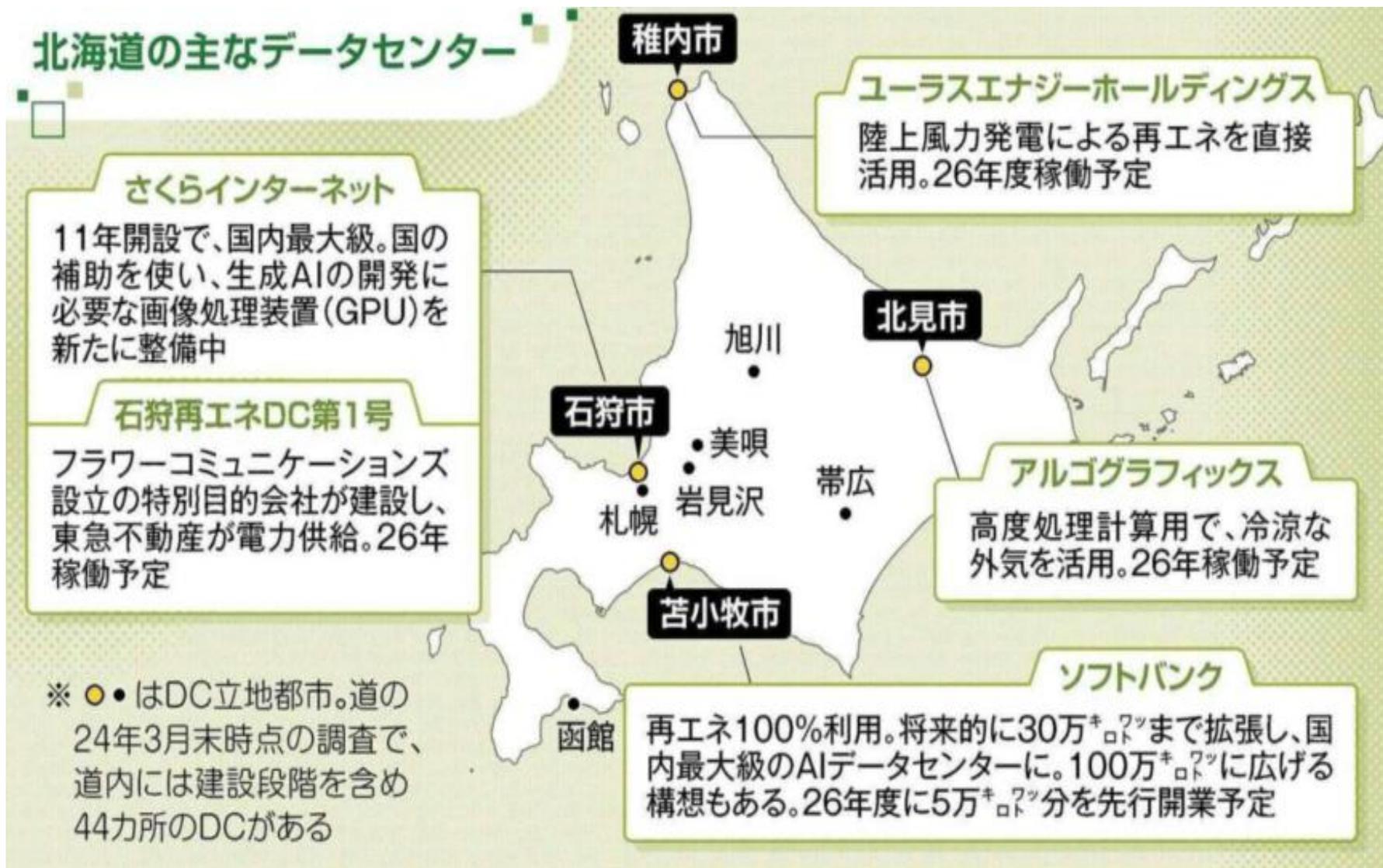
出典）\*1 東急不動産株式会社、「石狩再エネデータセンター第1号」着工、

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/uploads/b13d69815940fc60f187a921cdb06d131af5b683.pdf>

\*2 ソフトバンク株式会社、次世代社会インフラ構想の要となる大規模な計算基盤を備えたデータセンター「Core Brain」を構築、  
[https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2023/20231107\\_01/](https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2023/20231107_01/)

\*3 北海道新聞社、苫東DC 先行整備650億円、2023-11-08朝刊

\*4 北海道新聞社、苫東DC100万キロワット構想、2025-4-16朝刊



出典) 北海道新聞社, 再エネ求めDC道内集積, 2025-4-16朝刊

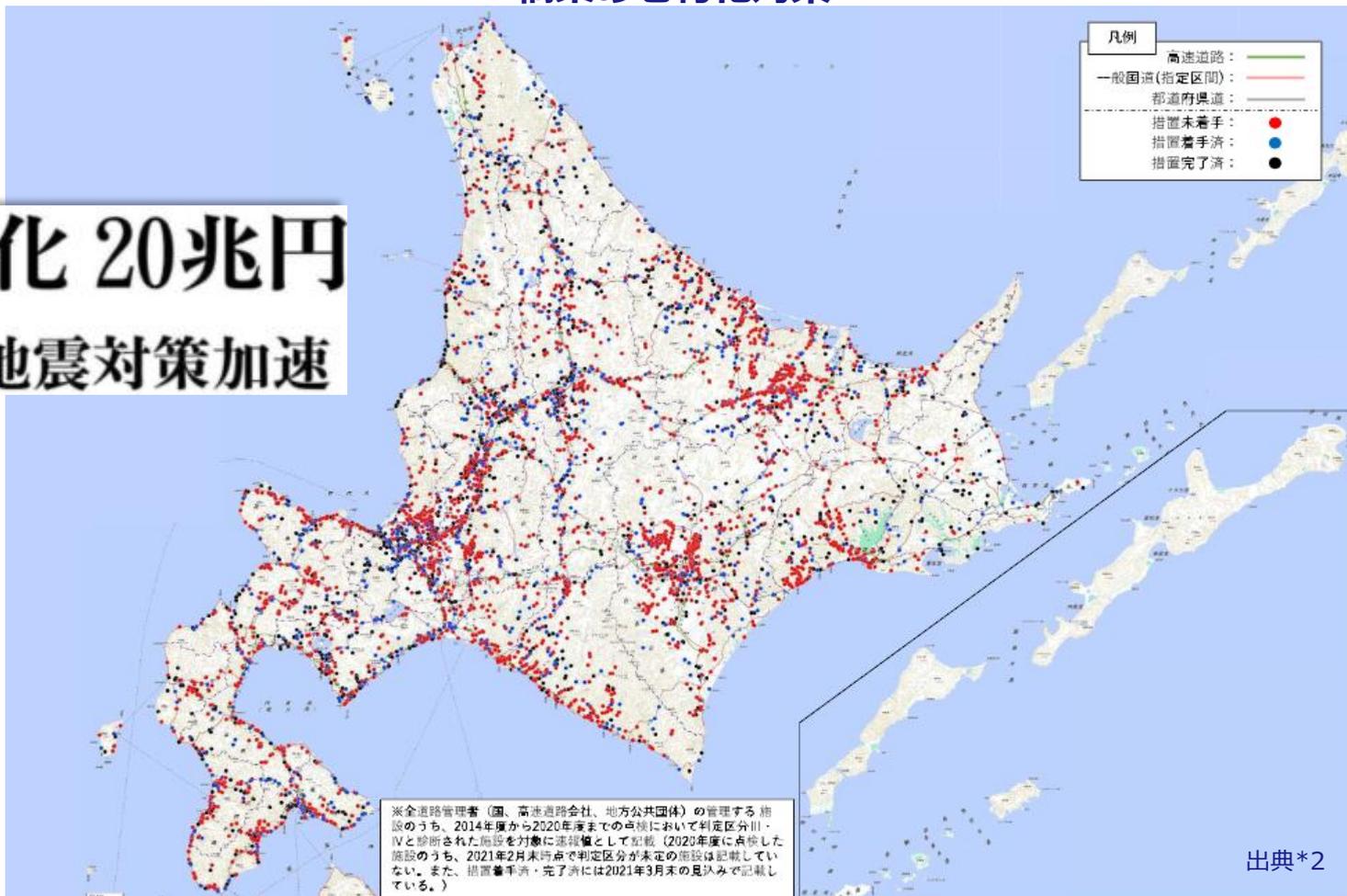
## <国土強靱化計画>

### ■ 橋梁の老朽化対策

# 国土強靱化 20兆円

## 26～30年度計画素案 地震対策加速

出典\*1



出典) \*1 北海道新聞社, 国土強靱化20兆円, 2025-4-2朝刊

\*2 国土交通省, 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)を策定,

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa00000050th-att/slo5pa0000005m6s.pdf>

## <泊発電所 新たな防潮堤設置工事>

■ 工事費 約1,800億円（準備工事：約700億円、設置工事：約1,100億円）

・ 泊発電所の津波対策として新たな防潮堤の設置工事を開始

【工事の開始時期】 2024年3月28日

【工事の完了時期】 未定

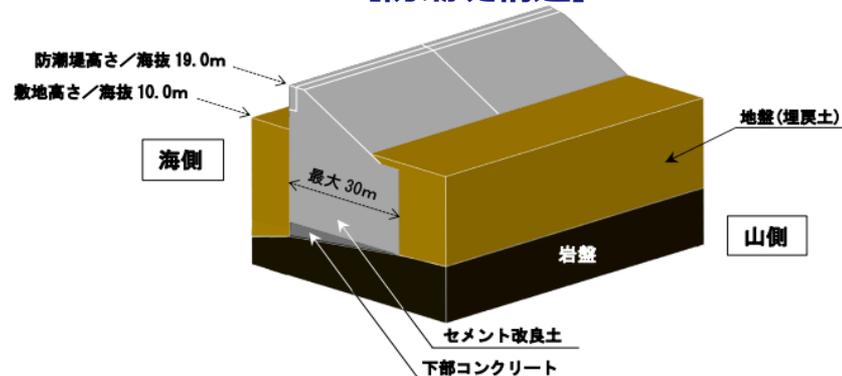
【構造】 コンクリートおよびセメント改良土による岩着支持構造

【高さ】 海拔19.0m

【延長】 約1,200m

【幅】 最大30m

【防潮堤構造】



【防潮堤関連概略スケジュール】

防潮堤関連工事	2022年度	2023年度	2024年度以降～
準備工事	土砂運搬/セメント改良土製造設備の設置など ▲11月		
設置工事		土留め	掘削 コンクリート・セメント改良土打設

【防潮堤設置イメージ】

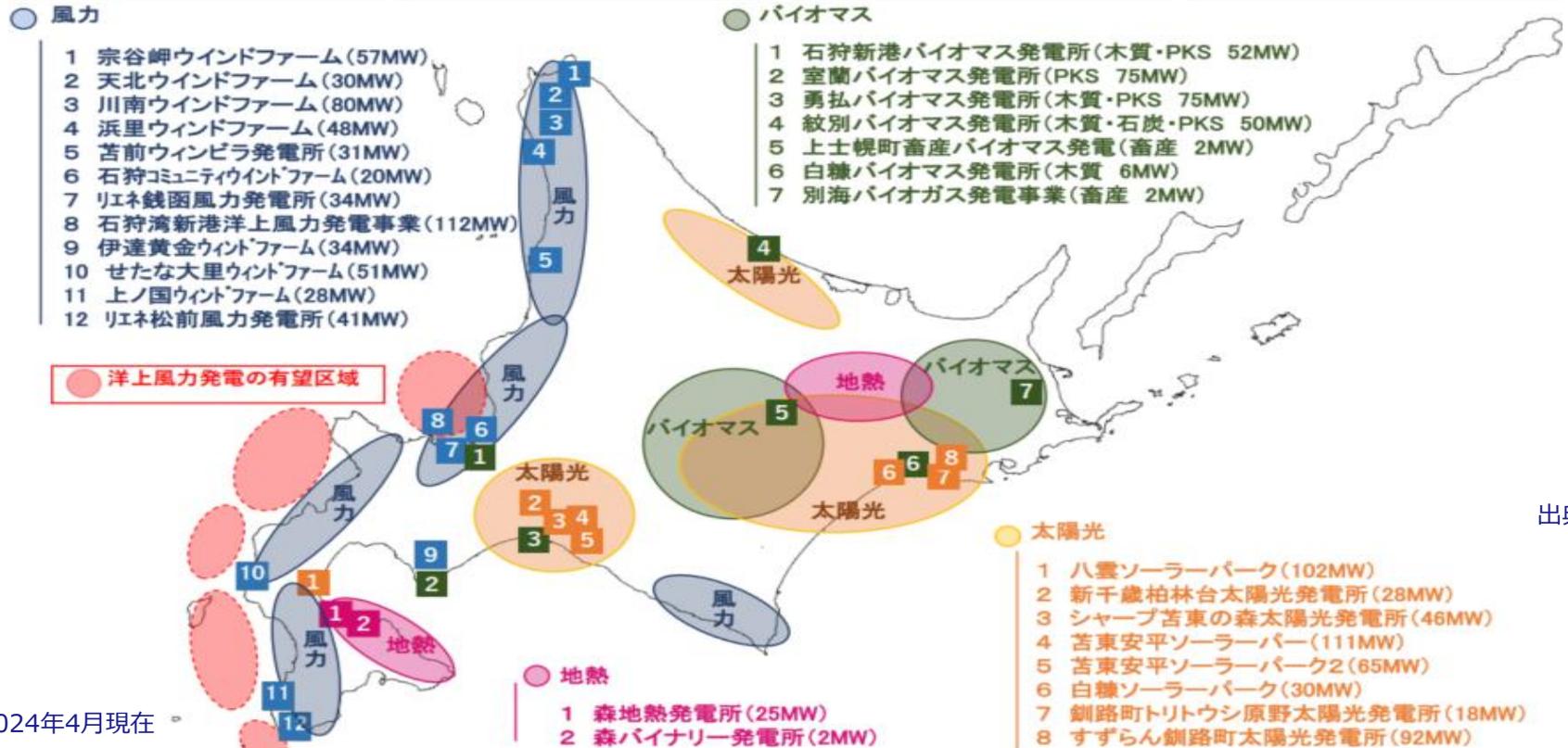


出典) 北海道電力株式会社, 泊発電所 新たな防潮堤設置工事の概要,

[https://www.hepco.co.jp/info/2023/\\_icsFiles/afieldfile/2024/03/22/240322\\_2a.pdf](https://www.hepco.co.jp/info/2023/_icsFiles/afieldfile/2024/03/22/240322_2a.pdf)

## < 北海道の再エネポテンシャル >

出典\*1



出典\*2

注) 2024年4月現在

出典) \*1 北海道, 広報紙(ほっかいどう)2024年9月号, <https://www.kohoshi-hokkaido.com/feature/2409/02>

\*2 札幌市, 道内の再エネポテンシャルやGX産業の可能性, [https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/documents/02\\_koen3.pdf](https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/documents/02_koen3.pdf)

## <北海道のGXを牽引する8つのプロジェクト>

45GW導入時の経済波及効果 **約2兆円**  
(※北海道の導入目標は1/3の15GW)

### 洋上風力発電

- 道内5つの「有望区域」で、最大合計3.8GWの発電が見込まれる



**水素** 道内の共同検討が想定する事業規模 **数千億円超**

- 大都市圏の札幌エリアや、産業集積地での需要拡大も期待
- 国が水素基本戦略に掲げた水素・アンモニア大規模供給拠点の一つとなることを目指す



### SAF

- 本邦エアラインにおいて2030年まで導入割合10%を目標
- 苫小牧市で国内唯一のCCS大規模実証実験が実施され、SAFを含めた合成燃料生成が期待



投資規模 **5兆円規模**

### 次世代半導体

- ラピダス社の立地決定総額5兆円規模の投資が見込まれる(同社による)



### データセンター

投資規模 **2,100億円超**

- 国が九州とともに北海道をデジタルインフラ整備の中核拠点として位置づけ
- これまで44箇所のデータセンターが立地(道庁調べ)



### 海底直流送電

- 日本海ルート200万KWについては、2030年度を目指して整備(国の「GX実現に向けた基本方針」)

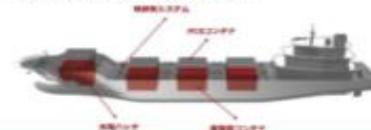
### 蓄電池工場

- 再生可能エネルギーによる発電の需給調整や地域マイクログリッドの形成
- 製造設備の立地促進



### 電気及び水素運搬船

- 電気運搬船建造中のPower X社と室蘭市が連携協定締結



日本海ルート of 海底直流送電の工事費 **1.5~1.8兆円** 出典\*2

出典) \*1 札幌市、道内の再エネポテンシャルやGX産業の可能性、 [https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/documents/02\\_koen3.pdf](https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/documents/02_koen3.pdf)

\*2 内閣府国家戦略特区地方創生推進事務局、第1回北海道国家戦略特別区域会議資料、

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/241210goudoukuikikaiqj/shiryu13-2.pdf>

## <GX金融・資産運用特区の構想>

- ・本道の国内随一の再エネポテンシャルを最大限活用
- ・道内に再エネを活用する産業の集積

GX官民投資 国内 150兆円超 のうち 道内 40兆円 を呼び込み  
※今後10年間



出典) 内閣府国家戦略特区地方創生推進事務局,第1回北海道国家戦略特別区域会議資料,

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/241210goudoukuikikaigi/shiryu13-2.pdf>

**本日は  
ご清聴ありがとうございました。  
厚く御礼申し上げます。**

本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その正確性を保証するものではありません。

実際の業績等は、業況の変化により本資料の予想数値と異なる場合がありますので、本資料のみに依拠して投資判断されることはお控えください。

